

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	岡山国際交流センター			所在地	岡山市北区奉還町2-2-1		
敷地面積	1,571.07 m ²			棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	6,037.36 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	県民と外国人との相互理解を深め、交流を推進し、地域の国際化を図ること。						
【想定される自然災害】							
予想震度		6弱		津波		-	
						浸水 0.5m以上1.0m未満	
建築規制	市街化区域、商業地域、準防火地域 建ぺい率80%、容積率400%、後楽園背景保全地区(高さ40m)						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (-)			
	602,414 kwh	62,631 m ³	4,937 m ³	- 0			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 あり						

1. 施設内建物の概況

名称	本館		
築年(西暦)	1995年		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階 地下2階		
建築面積	931.62 m ²		
延床面積	6,037.36 m ²		
主要な用途 (室名等)	執務室	7室	429 m ²
	会議室	16室	1,388 m ²
	倉庫	17室	223 m ²
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	
	中性化 ※3	—	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を行い、施設を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	・設備等の修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を順次行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館	設備等の大規模改修								空調設備 2		
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)									屋根、外壁	
										受変電設備	
										直流電源設備	
										蓄電池	
				中央監視制御	冷温水機					非常用発電	
										消防設備 防火シャッター	
										照明 (制御盤)	
										照明 (LED化)	
										給排水設備	
									非常警報装置		
					自動火災報知設備						
										舞台装置等	
											エレベーター

4. 概算費用

総額6億円(設備更新等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.3	施設全体のスケジュール(本館)を変更